

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通

2006

夏

6月1日発行(季刊)



ミュージカル「TSUKEN」

江戸時代後期、坂出に、日本一の塩田を造り、さぬきを救った男 ～久米通賢物語～

地元の子供たちも一般参加した舞台に、郷土の偉人を讃えた踊りが繰広げられ、満員の会場に郷土を愛する歌声が響いた。

パフォーマンスカンパニー リトルウイング（4・5頁に関連記事）

財団茶室竣工10周年記念茶会
郷土の人 久米通賢を知っていますか
好評連載 Oh!茶Gal!／喫茶居
6月から8月までの茶華道・イベント情報を掲載

50

発行・財団法人中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212

郷土の偉人 〜さぬきを救った男〜 久米通賢を知つていますか

当財団の平成十八年度の助成金交付団体であるパフォーマンスカンパニー「リトルウイング」とミュージカル「ツウケン」上演実行委員会主催のミュージカル「TSUKEN」が、四月に坂出市、五月に東かがわ市で公演された。

郷土の偉人を次代を担う子供たちへ伝えたいと意欲を示したミュージカルは、文字通り讃岐を救った男の物語で、久米通賢のひたむきな人生、天才的な発明の数々、勉学の夢、坂出塩田の完成などを歌と踊りで表現した舞台であった。（表紙参照）

開場を待ちかねた熱心な観客たちは、口べにパネル展示された久米通賢の資料の前で、坂出墾田建白書案の文面や通賢が実際に使っていた測量器具などの写真を見ながら、改めて彼の偉業ぶりに驚いた様子であった。生火銃の発明や、日本地図を作った伊能忠敬の測量隊が讃岐入りした時に琴平で対面したことなども話題となっていたようであった。

さぬきの馬宿村（現在の東かがわ市）に生まれた通賢は、小さい頃から利発で器用な子だったらしく、指つまみの粘土細工が得意だったとか、大阪で時計を修理したなどというエピソードを持つが、やがて、大阪で間重富の門下生として天文測量を学び、父親の死をきっかけに帰郷して藩に仕

現物が長いあいだ行方不明となっていたその時の印象から坂出の入り江が製塩に適した地である事を藩に進言し、私財をも投入した開墾に及び、続いて宇多津の塩田をも完成させるという半生を、先駆者につきものの奇人、変人呼ばわりの誤解から来る人々の白眼視など、人生の明暗を織り交ぜて披露していく。

ライトの点灯を開演合図にしたオープニングの舞台に、躍動的なダンスステップとリズミカルな歌で「ツウケン、ツウケン…」を繰り返して久米通賢の半生を語るだが、子供たちには少し難しい用語や内容のものを、象徴的な簡素な舞台装置の

財団行事予定 (六月～八月)

六月



◆懐石講座 三友居 山本勝先生
「伏笠の茶事」

六月九日(金) 午前十時～午後三時
季節の和菓子を二・三点作ります。

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
六月二十日(火) 午前十時～午後四時迄
ご自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは、要予約です。

◆南方録を読み解く 伏見章先生

六月二十七日(火) 午後一時三十分～

七月

◆茶杓削り講座

久しぶりに茶杓の見方、竹の選び方等の話を交えながら実技をいたします。むつかしいと思われるがちですが、始めてでも先生のご指導もあり「それなりに」手作りの作品が出来上がります。銘などつけてお楽しみ下さい。別途、花入れの制作も承りますので、ご希望の方はお申し出下さい。

日時 七月一日(土) 午後の部～午後一時～

七月二日(日) 午前の部～午前十時～
午後の部～午後二時～

講師

三原宥竹斎先生
(略歴：奈良県生駒市在住。昭和三十一年一月一日生まれ。)

伝統工芸指定 伝統工芸士

